



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 (株)神鋼環境ソリューション
 コード番号 6299 URL <http://www.kobelco-eco.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)粕谷 強
 問合せ先責任者(役職名)総務部長 (氏名)芳野 真弘
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 078-232-8018

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	63,126	12.4	1,962	182.9	2,025	152.6	1,747	339.5
2019年3月期第3四半期	56,169	11.2	693	65.4	801	61.8	397	70.7

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 1,802百万円 (264.2%) 2019年3月期第3四半期 494百万円 (66.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	108.46	
2019年3月期第3四半期	24.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	71,073	28,614	40.0
2019年3月期	85,836	27,543	31.9

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 28,444百万円 2019年3月期 27,390百万円

(注)2020年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		45.00	45.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.9	3,600	2.7	3,600	3.8	3,000	22.8	186.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、対前期増減率は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映させた数値と比較して記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	16,120,000 株	2019年3月期	16,120,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,148 株	2019年3月期	4,148 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,115,852 株	2019年3月期3Q	16,115,926 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は添付資料3ページをご覧ください。

また、今後、業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合は速やかに開示いたします。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の弱さが長引くなかで、製造業を中心に弱さが増しているものの、企業収益は高い水準で底堅く推移し、設備投資が緩やかに増加するとともに、雇用情勢の改善や個人消費が持ち直しの動きを見せるなど、緩やかに回復しております。一方、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱等、海外経済の動向や金融資本市場の変動影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドに留意する必要があります、不透明感が残る状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、昨年1月の廃棄物処理関連事業における事業統合や、2020年度を最終年度とする5ヵ年中期経営計画の折り返しであるこの機会に、当社グループがこれからも時代を超えて繁栄し続けるための共通の考え方・価値観として企業理念を制定しました。この企業理念のもと、中期経営計画において掲げた基本方針である「①主力事業のリノベーション」、「②海外展開・新規事業での着実なビジネスの拡大」、「③神戸製鋼グループとの連携強化」に沿い、目標の達成に向け、諸施策を着実に実施しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は、廃棄物処理関連事業における複数の基幹改良案件の受注、並びに、事業統合により増加した既納施設の運転・維持管理業務の受注に加え、化学・食品機械関連事業における、海外案件の受注増などにより、前年同期に比べ13,635百万円増(18.4%増)の87,921百万円となり、受注残高は前年同期に比べ18,634百万円増(22.9%増)の100,022百万円となりました。

売上高は、事業統合による影響等により前年同期に比べ6,957百万円増加し63,126百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期に比べ1,269百万円増加し1,962百万円、経常利益は前年同期に比べ1,223百万円増加し2,025百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の計上があり、前年同期に比べ1,350百万円増加し1,747百万円となりました。

なお、当社グループの事業形態による特徴として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、売上高の計上が偏る傾向にありますが、概ね計画通りに推移しております。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(水処理関連事業)

水処理関連事業につきましては、売上高は、前年同期に比べ2,176百万円増加し、22,967百万円となりました。経常損益は、一部案件のコストアップがあったものの、増収等により、前年同期に比べ432百万円改善し、734百万円の損失となりました。

(廃棄物処理関連事業)

廃棄物処理関連事業につきましては、売上高は、事業統合等による影響により前年同期に比べ6,291百万円増の33,189百万円となりました。経常利益は、増収に加え一部子会社における増益等もあり、前年同期に比べ1,170百万円増加し、2,230百万円となりました。

(化学・食品機械関連事業)

化学・食品機械関連事業につきましては、売上高は、前年同期に比べ1,510百万円減の6,945百万円となりました。また、経常利益は、減収の影響等により、前年同期に比べ279百万円減少し、966百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は71,073百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,763百万円減少しました。流動資産は48,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,394百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少18,771百万円、仕掛品の増加3,267百万円、短期貸付金の増加845百万円によるものです。固定資産は22,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,368百万円減少しました。

負債合計は42,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,833百万円減少しました。流動負債は32,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,904百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の減少6,265百万円、買掛金の減少3,960百万円、未払費用の減少1,817百万円によるものです。固定負債は10,213百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加しました。

純資産合計は28,614百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,070百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,747百万円の計上による増加、配当金725百万円の支払いによる減少によるものです。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、40.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、2019年11月5日に公表しました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想を据え置いております。

実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,015	4,442
受取手形及び売掛金	47,322	28,551
電子記録債権	1,548	1,474
商品及び製品	52	54
仕掛品	1,993	5,261
原材料及び貯蔵品	895	1,008
短期貸付金	3,198	4,043
その他	2,387	4,162
貸倒引当金	△93	△72
流動資産合計	62,321	48,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,505	16,515
減価償却累計額	△11,314	△9,907
建物及び構築物(純額)	7,191	6,608
機械装置及び運搬具	13,194	13,225
減価償却累計額	△9,519	△9,851
機械装置及び運搬具(純額)	3,674	3,373
土地	3,590	3,528
建設仮勘定	35	75
その他	1,795	1,835
減価償却累計額	△1,346	△1,380
その他(純額)	448	454
有形固定資産合計	14,941	14,041
無形固定資産		
投資その他の資産	1,181	1,033
投資有価証券	934	630
繰延税金資産	4,156	3,989
退職給付に係る資産	1,266	1,290
その他	1,164	1,291
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	7,392	7,071
固定資産合計	23,515	22,146
資産合計	85,836	71,073

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,418	8,458
電子記録債務	11,140	10,120
短期借入金	7,971	1,706
未払法人税等	897	557
未払費用	3,183	1,366
前受金	3,990	4,476
製品保証引当金	2,804	2,091
工事損失引当金	1,151	1,500
その他	4,591	1,967
流動負債合計	48,149	32,245
固定負債		
長期借入金	2,915	2,668
リース債務	130	72
退職給付に係る負債	6,522	6,907
資産除去債務	499	501
その他	73	62
固定負債合計	10,142	10,213
負債合計	58,292	42,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,020	6,020
資本剰余金	3,332	3,332
利益剰余金	18,193	19,209
自己株式	△6	△6
株主資本合計	27,539	28,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	142
繰延ヘッジ損益	12	10
為替換算調整勘定	48	42
退職給付に係る調整累計額	△382	△306
その他の包括利益累計額合計	△149	△110
非支配株主持分	153	169
純資産合計	27,543	28,614
負債純資産合計	85,836	71,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	56,169	63,126
売上原価	48,251	53,060
売上総利益	7,917	10,065
販売費及び一般管理費	7,223	8,102
営業利益	693	1,962
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	22	93
投資有価証券売却益	24	1
貸倒引当金戻入額	17	21
分析料収入	2	2
その他	79	23
営業外収益合計	158	151
営業外費用		
支払利息	29	34
為替差損	-	38
固定資産除却損	6	4
その他	14	12
営業外費用合計	50	89
経常利益	801	2,025
特別利益		
契約解約益	-	649
特別利益合計	-	649
税金等調整前四半期純利益	801	2,675
法人税、住民税及び事業税	219	767
法人税等調整額	135	142
法人税等合計	355	910
四半期純利益	446	1,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	397	1,747

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	446	1,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	△29
繰延ヘッジ損益	8	△1
為替換算調整勘定	11	△5
退職給付に係る調整額	64	76
その他の包括利益合計	48	38
四半期包括利益	494	1,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446	1,786
非支配株主に係る四半期包括利益	48	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,782	26,897	8,455	56,136	32	56,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	-	-	8	△8	-
計	20,791	26,897	8,455	56,145	24	56,169
セグメント損益	△1,166	1,060	1,245	1,139	△338	801

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額32百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。
 2. セグメント損益の調整額△338百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,962	33,189	6,925	63,076	49	63,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	-	20	26	△26	-
計	22,967	33,189	6,945	63,102	23	63,126
セグメント損益	△734	2,230	966	2,462	△437	2,025

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額49百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。
 2. セグメント損益の調整額△437百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2019年1月1日付での株式会社IHI環境エンジニアリングの廃棄物処理施設関連事業等の承継に伴う企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、顧客関連の無形資産に659百万円が配分され、繰延税金負債が201百万円増加した結果、取得日におけるのれんの金額は457百万円減少しております。

なお、この暫定的な会計処理の確定による損益に与える影響は軽微のため、記載を省略しております。

[決算発表 補足資料]

1. 連結経営成績

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計①	2019年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	561	631	+69	+12.4%
営業利益	6.9	19.6	+12.6	+182.9%
経常利益	8.0	20.2	+12.2	+152.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3.9	17.4	+13.5	+339.5%
1株当たり 四半期純利益 (単位：円)	24.67	108.46	+83.7	-

2. 連結受注状況

1) 受注高

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計①	2019年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	300	338	+38	+12.7%
廃棄物処理関連事業	372	456	+83	+22.5%
化学・食品機械関連事業	69	84	+14	+21.0%
消去・調整額	0	0	-	-
受注高合計	742	879	+136	+18.4%
受注残高	813	1,000	+186	+22.9%

※長期運転維持管理業務の受託高は含んでおりません。(但し、同業務の単年度売上額を受注高として計上)

2) 受注高+長期運転維持管理業務の受託高

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計①	2019年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
受注・受託高	762	787	+24	+3.2%
受注・受託残高	1,768	2,187	+419	+23.7%

3. 連結セグメント情報

1) 売上高

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計①	2019年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	207	229	+21	+10.5%
廃棄物処理関連事業	268	331	+62	+23.4%
化学・食品機械関連事業	84	69	△15	△17.9%
調整額	0	0	△0	△4.2%
合計	561	631	+69	+12.4%

2) 経常利益

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計①	2019年度 第3四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	△11.6	△7.3	+4.3	-
廃棄物処理関連事業	10.6	22.3	+11.7	+110.4%
化学・食品機械関連事業	12.4	9.6	△2.7	△22.4%
調整額	△3.3	△4.3	△0.9	-
合計	8.0	20.2	+12.2	-

4. 連結財政状態

(単位：億円)

	2018年度 ①	2019年度 第3四半期②	前期比増減	
			②-①	増減率
総資産	858	710	△147	△17.2%
負債	582	424	△158	△27.2%
純資産	275	286	+10	+3.9%
自己資本比率	31.9%	40.0%	+8.1pt	-
外部負債残高 ※1	108	43	△65	△59.8%
1株当たり 純資産(単位：円銭)	1,699.61	1,765.00	+65.39	+3.8%

※1 外部負債残高は借入金から構成されており、リース債務を含めておりません。

5. 2020年3月期の連結業績予想

(単位：億円)

	2018年度 実績①	2019年度 予想②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	901	1,000	+98	+10.9%
営業利益	37.0	36.0	△1.0	△2.7%
経常利益	37.4	36.0	△1.4	△3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24.4	30.0	+5.5	+22.8%

※2018年度の各数値は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。
2020年3月期の連結業績予想は、2019年11月5日に公表しました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想から変更はありません。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。